

# 県民だより

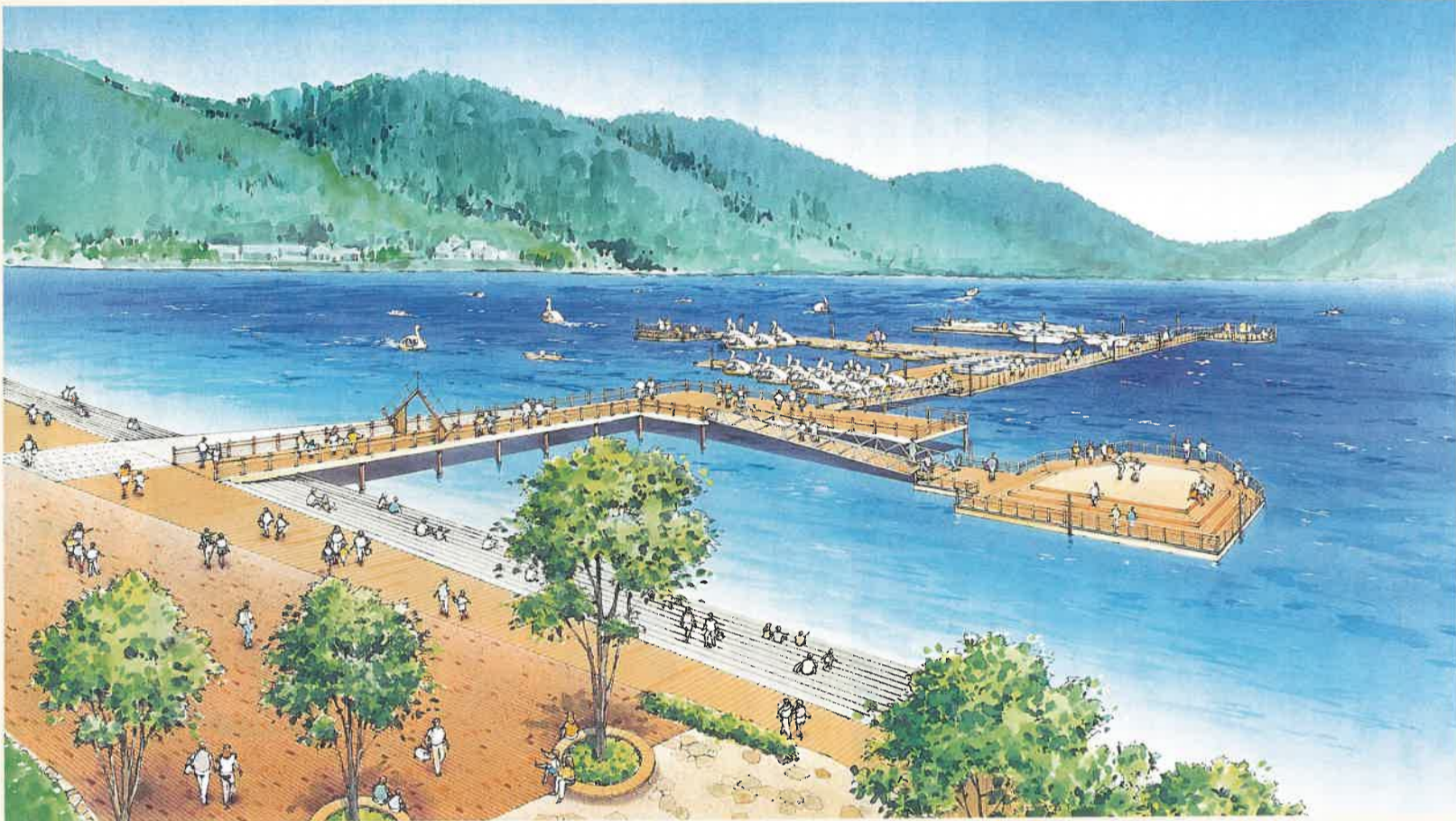
# 11

月号

編集・発行 栃木県企画部広報課

〒320-8501 宇都宮市埴田1-1-20

TEL 028-623-2159 FAX 028-623-2160



●統合桟橋及び中禅寺湖展望デッキ完成イメージ図



## 美しい自然と近代遺産 中禅寺湖畔再整備

●自然公園核心地域総合整備事業（緑のダイヤモンド計画）

日光国立公園の美しい自然を代表する中禅寺湖。湖畔には大使館の別荘が静かにたたずみ、国際避暑地の草分けであった往時の姿を今に留めています。県では中禅寺湖畔の再整備を進めています。

### 中禅寺湖畔の再整備

県では、平成七年度に、「自然公園核心地域総合整備事業（緑のダイヤモンド計画）」の地域指定を受け、「てくてく歩こう奥日光」のテーマのもと、中禅寺湖を含む奥日光の自然環境を保全・修復するとともに利用拠点等の整備を進めています。

特に、中禅寺湖畔は、昭和三十二年に園地が整備されて以来、四十年が経過し、施設の老朽化や桟橋の乱立等の問題が生じています。こうしたことから、湖畔の整備にあたっては、周辺道路の電線地中化や園地の再整備を進めると



●整備中のプロムナード

もに、ボートの統合桟橋を兼ねた湖上デッキ（イラスト）を設置するなど、湖畔景観の回復と親水空間の創出を図ることにしています。また、湖畔を周遊できる遊歩道（約二十五km）の整備や、県で取得したイタリア大使館夏季別荘、西

六番別荘跡、金谷ボートハウスなど近代遺産の活用も図り、県民の皆様さらに親しまれるよう、中禅寺湖畔の再整備を進めてまいります。  
◆問合せ 県自然環境課  
TEL 028-623-3206

### 「夏は外務省が日光に移る」

明治中期から昭和初期の中禅寺湖畔は、大使館などの別荘が建ち並び、国際避暑地としてにぎわいを見せていました。日光までの鉄道が開通（明治二十三年）してまもなく、明治二十年後半にトーマス・グラバー（\*）により湖畔の大崎に別荘が建てられ、以降各国大使館の別荘が競うように建設されました。

明治三十年代、釣りを紳士のたしなみとするヨーロッパの外交官等の夏期滞在地向と変貌。さらに、日本の政財界のリーダー達も避暑に訪れるようになり、日本や世界の行方を論じ、友情を深めあう姿に、「夏は外務省が日光に移る」という言葉が残されています。

明治三十二年には、日光市田母沢に御用邸が置かれたこともあり、日光のステイタスはますます高ま

つていきました。中禅寺湖畔には、今もフランス・ベルギー・イギリスの大使館別荘等が残っており、美しい姿を湖面に映します。県では、イタリア国から大使館夏季別荘を取得、現在改修工事を行っています。平成十二年秋には公開される予定です。  
\*長崎のグラバー邸で有名な幕末の貿易商

●改修前のイタリア大使館別荘



# 行政改革をすすめています

●簡素で効率的な行政システムを目指して―栃木県行政改革大綱(第二期)―

県では、平成十年二月に「栃木県行政改革大綱(第二期)」を定め、地方分権の時代に対応した簡素で効率的な行政システムを目指し、全庁をあげて行政改革を進めています。この大綱の推進期間は、平成十年度から十二年度までの三年間ですが、今回は、現在の取り組み状況について紹介します。

## 事務事業の見直し

厳しい財政状況の下、すべての事務事業について聖域を設けることなく見直しの対象としています。また、予算編成に当たっては、

ゼロベースの考え方に立って施策を根底から見直すこととしています。スクラップ・アンド・ビルド方式(既存事業の改廃を前提とした事業の新設)、サンセット方式(各事業の終期の設定)等を徹底するとともに、キヤップ制(事業分

野別に歳出抑制目標を設定)を導入、行政経費の削減、抑制を図っています。さらに、各事業の必要性や効果等を客観的な指標に基づいて評価し、個々の事務事業について休止、縮小、重点化、統合などを進めています。

(十一年度当初予算措置の概要)

- 事業の休止等 百二件 約四十八億円削減
- キヤップ制の導入 約百二十億円削減
- 内部管理経費の節約等 七十六件 約五十五億円削減

## 農務部の本庁・出先機関を再編

新しい食料・農業・農村基本法の制定などを踏まえ、農業施策の総合的な推進に向け、来年四月を目途に農務部の組織改編を進めています。本庁を四部門(総務企画、経営技術、生産振興、農村振興)に分け、事務の再配分と課室の再構成を行います。さらに出先機関についても、農政事務所、農業改良普及センター及び土地改良事務所(三十一機関)を八つの総合事務所に再編し、総合的に農業の振興を図ることとしています。

## 改革の視点

- \* 事務事業の見直し
- \* 行政組織と人事管理の見直し
- \* 分権の推進と県民に開かれた県政
- \* 事務処理の効率化と県民サービスの向上



また、県行政と密接な関係にある外郭団体の見直しも積極的に進めています。「外郭団体の見直し方針」を策定し、団



●審議会等の会議を公開しています

体運営や県の支援内容を見直すとともに、類似業務を行う団体の統合を進め、現在の三十団体を二十四団体に統合再編していきます。

## 一般の職員数を百七十人削減

病院職員などを除いた一般の職員数については、昭和四十五年以來、職員定数を据え置き、スクラップ・アンド・ビルドを基本に増大する行政需要に対応してきましたが、厳しさを増す行政環境の中、一層の適正化を図るため、新たな「定員適正化計画」を策定しました。この計画では、平成十年から十二年度までの三年間で、一般の職員数を約三〇(百七十人)削減することとしています。

## 県民に開かれた県政

開かれた県政を推進するため、県が保有する情報は県民共有の財産という考え方を一層徹底するとともに、県民への説明責任を明らかにし、県民が行政情報をより入手、利用しやすくなるよう「公文

書の開示に関する条例」を改正することとしています。

また、県民の県政への参加を促進するため、広聴広報活動の充実を図るとともに、審議会や懇談会等の会議の公開などにも積極的に取り組んでいます。

## 事務処理の効率化と県民サービスの向上

事務処理の省力化、効率化を図るため、本庁職員にパソコンを配備し、庁内ネットワークによる電子メールなどの運用を開始したほか、文書事務の電子化や文書の減量化を推進するための「文書管理システム」の開発に着手しています。

また、申請書類や受付方法の見直し、押印の廃止など事務手続の一層の簡素化を図り、県民の立場に立ったサービスの改善に向けた取り組みを進めています。

◆問合せ 県人事課  
TEL 028-623-2039

## 職員の状況

区分	職員数(人)		比較 10年度 →11年度	定員適正化計画(10~12)	
	10年度	11年度		適正化 目標	適正化のための 手法
一般部門	5,437	5,399	△ 38	△ 170	・組織機構の スリム化 ・派遣職員の 削減 ・業務終了等
教育部門	17,368	17,218	△ 150		
警察部門	3,216	3,219	3		
特別部門	615	611	△ 4		
計	26,636	26,447	△ 189		

(注) 職員数は常勤の職員で、休職者、派遣職員を含みます。なお、特別部門は、病院・企業庁・下水道・公営競技などに従事する職員。

# トピックス

## 皇太子同妃両殿下那須をご訪問

皇太子同妃両殿下は、十月四日から八日まで、ご静養のため那須御用邸に滞在されました。四日、JR那須塩原駅に到着された両殿下は、三百人余りの歓迎に、こやかにこたえられました。

翌五日には、昨年の八月末豪雨災害の被災農家をご訪問になりました。両殿下は、被災の状況や復旧の様子などをご覧になりました。



●被災状況の説明を受ける両殿下

## クリーンアップフェア'99開催

十月九日と十日、宇都宮市西川田町の県子ども総合科学館で「地球にやさしい暮らし」をテーマにクリーンアップフェア'99が開催されました。会場には、過去最高の九千五百人が来場し、大変なごわいを見せていました。

フェアでは、ごみ減量化のためのマイバッグキャンペーンを実施し、バッグの配布を行ったほか、子どもたちに人気のおじゃる丸のショー、空き瓶をリサイクルしたガラスアート、バッテリーカムの試乗など様々なイベントが行われました。来場者が見て、ふれて、遊

んで学ぶことができるフェアとなりました。

◆問合せ 県環境管理課  
TEL 028-623-3186



●ゲームを通してリサイクルを学ぶ

## マロニエ特使が県内を視察

県内外のマロニエ特使が、十月十三日から十四日(県外特使)と、二十日(県内特使)、県内を視察しました。

特使の皆さんは、県が改修を進めている旧日光田母沢御用邸や保護対策が進む日光杉並木などを視察、改めてとちぎの魅力を実感していただきました。

◆問合せ 県広報課  
TEL 028-623-2192



●杉並木を視察するマロニエ特使



前略 知事さんへ  
貴重なご提案をありがとうございました

昨年から実施しております広聴事業「前略 知事さん」には今年も十月末現在電子メールと手紙を合わせて、三三三件のご提案をお寄せいただき、ありがとうございました。

この中から三点について提案の要旨と県の考え方を掲載いたします。

日光杉並木の保存募金



日光杉並木は、歴史的に大切なもので、県が誇る代表的なものだと思っております。そこで県として、「国民の日」に県民からの杉並木保存募金を実施したいと考えています。

日光杉並木の保護のための募金については、平成六年度から杉並木保護基金を設けており、いつでも皆さんからの寄附を受け付け、現在までに約二億円の浄財をいただいております。

また、平成八年秋から開始した日光杉並木オーナー制度（並木杉を一本一千万円で売却し、その運用益で保護事業を実施）の普及に努めております。

ご提言の「県民の日」における杉並木保存募金の実施についても、大切なことですので検討してまいりますと考えております。

今後、新聞やテレビでの保護対策の掲載や放映を行う等いろいろな機会を捉えて、杉並木保護の必要性を訴えてまいります。

◆問合せ 県文化財課  
TEL 028-623-3462

保育料金の負担軽減

現在、二人の子を保育園に通わせ、高額な保育料金を支払っています。保護者が安心して預けられ、働き続けられるよう、県や市町村は費用の一部補助あるいは保育料金を低く抑えるなどの扱いをしていただきたい。

平成十年度から施行された新しい保育制度では、家計負担を考慮し、子供の年齢に応じた保育費用を基礎として保育料金を定めるように示されています。

こうしたことから各市町村では、総合的な子育て支援施策の中で、家庭で育児に専念している方々の均衡も考慮し、公平で適正な保育料金の設定に努めています。その結果、現在どの市町村も、国で定める基準額より二〜五割程度（県平均では約三割強）の軽減を行い、利用者の負担軽減を図っています。



また、兄弟が一緒に通園する場合の保育料金の割引率についても、国の基準よりさらに軽減する努力をしているところもあります。

県においても、県単独の措置として、市町村に対し乳児保育や延長保育の助成を行なう等、支援に努めているところです。

これからも、地域の子育て支援施設として、さらに保育サービスを充実させていきたいと考えております。

◆問合せ 県児童家庭課  
TEL 028-623-3063

とちぎのイメージアップ

栃木県の認知度が全国的に低いため、イメージアップの方法を検討されているとの新聞記事を読みました。

県内には日光や那須という全国的に知られた有名な観光地がありますが、この地名と栃木県が結びついていないと思う。県におけるイメージアップの取り組み状況を教えてください。

本県は、「自然が豊かで、観光資源に恵まれ、暮らしやすい」というイメージを多くの方々を持たれていながら、具体的なイメージとなると曖昧であるところご指摘もあることから、様々な事業を展開してイメージアップを図っているところとあります。

これまで、JR東北本線の上野・黒磯間に「宇都宮線」の愛称を、東北新幹線に具体的地名を用いた「なすの」号の名称を付けていただいたり、県木「栃の木」を洒落た響きを感じさせる「マロニエ」と呼びイメージアップに活用するほか、スクリーンを通して本県の魅力を訴えた映画「オサムの朝」製作支援事業等に取り組んでまいりました。

現在、「日光の社寺」の世界遺産登録や、日光杉並木のオーナー制度などが全国的に話題となっており、

今後、本県の歴史や文化、豊かな自然といった誇れる資産に着目しながら、「とちぎの顔」がより明確となるよう、本県のイメージアップに努めてまいります。

◆問合せ 県広報課  
TEL 028-623-2192



お寄せください。あなたの提案

前略知事さんへ  
お寄せください。あなたの提案



県では、広報紙とインターネットを活用して、県民の皆様からのご提案・ご意見をお聞きする広聴事業「前略知事さん」を実施しております。お寄せいただいたご提案等は、今後の県政に反映していきたいと考えております。

また今回は、県で現在策定中の「新しい総合計画」に対するご提案・ご意見も併せて受け付けますので、ぜひご利用ください（裏面参照）。  
◆問合せ 県広報課  
TEL 028-623-2158

◎県政に関するご提案等をこの用紙でお寄せください。

前略 知事さん

県政全般 ・ 新しい総合計画

◆いずれかに○をつけて、ご意見をお寄せください  
テーマ

-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----

のりしろ

-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----

〒 \_\_\_\_\_  
ご住所 \_\_\_\_\_  
お名前 \_\_\_\_\_ 男・女 歳 \_\_\_\_\_  
ご職業 \_\_\_\_\_  
☎ ( ) \_\_\_\_\_

のりしろ

# マロニエ カエデ



## 花 歳 時 記

### ハウチワカエデ (カエデ科)

紅葉の名所となるためには幾つかの条件があります。①樹種が多く、彩りが鮮やか②反対色の針葉樹が付近にある③朝夕の寒暖差が大きく、色素の分解・合成が促進されることなどです。今年の紅葉はいかが？

#### ウォッチングポイント

今年は秋の訪れが遅かったため、日光二社一寺周辺や低山地、民家周辺の里山でもこれから楽しめます。

## カルチャー CULTURE

### 県立博物館

●テーマ展◎「下野の戊辰戦争」●12月12日(日)まで◎「変形菌～菊地理一生涯100年記念～」●1月30日(日)まで◎「おじいさんやおばあさんの子供のころの暮らし」●4月23日(日)まで●体験学習「ドングリでコマやジャロペエを作ろう」●11月27日(土)●当日受付へ●映画会●11月27日(土)12月11日(土)●当日会場へ●問合せ ☎028-634-1312

### 県立美術館

●企画展「サンフランシスコ近代美術館展」



「ウェイン・テイラー」  
1936年

●10月31日(日)～12月5日(日)●サンフランシスコ近代美術館の充実したコレクションの中から、カリフォルニア20世紀美術の様々な動向を112点の作品で展覧●問合せ ☎028-621-3566

### 県子ども総合科学館

●バラエティーサイエンス●11月27日(土)・28日(日)●誰でも参加できる、簡単に楽しい工作や実験を行う身近な科学発見プログラムです●第35回企画展「地球のひみつ」●12月11日(土)～1月16日(日)●地球のダイナミックな自然現象を映像を中心とした展示で紹介●造形スタジオ「ペーパージャングル」●12月11日(土)～1月16日(日)●紙を使って「ジャングル」をテーマに造形活動を展開します。毎日いろいろなプログラムが体験できます●天体観望会●11月17日(水)一月、木星、土星の観察●12月4日(土)一月、木星、土星、さんかく座の銀河の観察●問合せ ☎028-659-5555

### 県総合文化センター

●読売日本交響楽団特別演奏会●11月23日(火)午後5時開演●コンサート・エレガンス'99「ウィーン木管八重奏団」●11月27日(土)午後6時30分開演●アンナ・クオ ソプラノリサイタル●12月4日(土)午後6時30分開演●とちぎ舞台芸術アカデミー アートマネージメント部門●12月8日(水)午後1時30分開演●基調講演(丹羽正明氏、演奏会他)●問合せ ☎028-643-1010



アンナ・クオ

## 県政

### 催し

●緑の相談所の催し  
◎中央公園(☎028-636-7621)●洋ラン展●11月26日(金)～28日(日)  
◎井頭公園(☎0285-82-4475)●植物を素材にした手作り作品展●11月18日(木)～28日(日)  
◎那須野が原公園(☎0287-36-1220)●竹芸展●11月27日(土)～12月5日(日)  
◎みかも山公園(☎0282-55-7733)●講座「秋のアートフラワー教室」●①11月21日(日)②11月28日(日)●定員 20名●電話申込可

●人権・同和問題講演会  
●11月25日(木)午後1時～4時●県総合文化センター(宇都宮市)●内容 「人権に関する作文」最優秀賞朗読発表、ピアノリサイタル、講演「アグネスの“みんな地球に生きるひと”～21世紀へのメッセージ～」/アグネス・チャンさん(エッセイスト、教育学博士)●入場無料●問合せ 県同和对策課☎028-623-3026

●第7回栃木県アルコールセミナー  
●11月28日(日)正午～午後4時30分●県総合文化センター(宇都宮市)●内容 AA・断酒会の回復者並びにその家族からの体験発表、講演「アルコール依存症と人間関係」●入場無料●申込方法 11月26日(金)までに電話またはFAXで●問合せ 県立岡本台病院☎028-673-2211 FAX 028-673-2214

●栃木科学・技術シンポジウム'99  
●11月29日(月)午後1時～5時●県総合文化

センター(宇都宮市)●内容 基調講演「新しい産学官の連携を目指して～とちぎベンチャーへの期待～」、パネル討論●入場無料●問合せ 県商工振興課☎028-623-3203

●ちよっぴりはやいクリスマス  
●12月11日(土)～12日(日)1泊2日●県立今市少年自然の家●内容 自然の家オリジナル猪鹿鳥鍋を囲み楽しい一時を。子供にはサンタクロースからのプレゼントあり●対象 県内在住の小中学生とその家族20組●参加費 大人4,000円、子供3,000円●申込みは電話で●問合せ 同自然の家☎0288-21-7224

### 案内

●標準営業約款制度《Sマーク》をご存じですか？  
●この制度は、消費者保護の観点から、消費者がお店を利用する際の選択の利便を図るとも

に、公衆衛生の向上に資する目的で制度化されたものです。現在、理容業、美容業、クリーニング業の3業種が、厚生大臣の認可を受けて実施しています。登録店にはSマークが表示されています。問合せ (財)栃木県環境衛生営業指導センター☎028-625-2660



●乳幼児突然死症候群対策強化月間  
●赤ちゃんのいるご家庭では、乳幼児突然死症候群を予防するために、次の3点に注意をしながら育児をしましょう。①特に医師の指導がない限り、あおむけ寝をこころがけましょう②妊娠中の女性の喫煙、妊娠中の女性や赤ちゃんのいる部屋での喫煙をやめましょう③母乳が出る場合は、できるだけ母乳栄養をこころがけましょう●問合せ 県児童家庭課☎028-623-3063

## 新しい総合計画をつくりま



多くの県民の皆様の参加を  
お願いいたします！

### ●アドレス

<http://www.pref.tochigi.jp/newplan/>

新しい総合計画の策定に関する様々な情報をインターネットでお知らせしています。この中の「意見募集」のページから、メールを送信することができますので、皆様が新しい総合計画に取り入れてほしいと思っている事項について、ご意見をお寄せください。

料金受取人払

宇都宮中央局  
承認  
209

差出有効期間  
平成12年3月  
31日まで

切手をはらずに  
お出しください

3 2 0 8 7 9 0

001

栃木県知事  
渡辺文雄 行

宇都宮市塙田一丁目一番二〇号



のりしろ

## 新しい総合計画についての ご意見をお寄せください



本県の総合計画である「とちぎ新時代創造計画三期計画」が平成12年度で終了することから、現在、平成13年度から始まる新しい5か年間の総合計画の策定に着手したところです。

### 策定の進め方

21世紀初頭は、少子・高齢化のいっそうの進行、地球温暖化や廃棄物などの環境問題の重要性の高まり、情報化・交通網の整備・人々の交流によるネットワーク時代の到来など、私たちが取り巻く環境が大きく変化しようとしています。

このような中、これらの課題に的確に対応できる実効性のある総合計画とするため、多くの県民の皆様からご意見をいただき、できる限り新しい計画に反映していきます。

皆様がお考えになる21世紀の“とちぎ像”や県が取り組むべき各種施策などについて、この封書(前略知事さん)をご利用になり、ご意見をお寄せください。

### 【問合せ】

県企画部企画調整課 Tel 028-623-2206

のりしろ